



令和6年度

除雪ボランティア活動

2月4日、小坂町社会福祉協議会と町内団体・事業者共同による、高齢者世帯を対象とした除雪ボランティアが行われました。

当日は、例年に比べて多く降り積もった雪を見事なチームワークで手際よく片付けていました。

除雪ボランティア活動は、昭和62年から小坂高校の伝統行事として毎年行われており、今年は令和6年3月に閉校となった同校から小坂町社会福祉協議会が伝統行事を引き継ぐ形での実施となりました。



小坂町消防団

団長らがマリア園でPR

1月23日、澤口紀夫消防団長らが小坂マリア園を訪問しました。年々減少している消防団員に歯止めをかけようと、園児らの親世代へアピールするため、初めての実施となりました。

当日は、2歳児以上の園児ら60人を前に、澤口団長が消防団の活動などを紹介し、啓発グッズを全園児にプレゼントしました。また、参加した女性団員はマリア園に通う園児の母親でもあり、普段とは違う姿に園児らからは「かっこいい」など歓声があがりました。

小坂町消防団では、一緒に活動して下さる団員を随時募集しております。興味のある方は消防団事務局（町民課町民生活班内）TEL29-3928までお気軽にお問合せください。



第13回KOSAKAアカシアスプリント大会

特設コースで小中学生選手らが競う

2月23日、昨年中止となった本大会が2年ぶりに開催されました。大会実行委員会やボランティアスタッフの皆さんにより、陸上競技場と野球場に特設コースが整備され、町内外の小中学生選手ら108人が白熱したレースを展開。会場には保護者や関係者をはじめ、多くの方が応援に駆けつけて選手らに声援を送りました。

レース後は桃豚などの町特産品が当たるお楽しみ抽選会が行われ、選手らは抽選結果に一喜一憂しながら楽しみました。

大会結果は町ホームページに掲載していますのでご覧ください。



小坂小・中学校 桃豚給食

ふるさとの特産おいしいな

2月18日(火)に、ポーランドグループから無償で提供を受けた桃豚を使った給食が、小坂小・中学校で提供されました。桃豚の無償提供は今年度が初めての取組です。この日の献立は、ロース肉とバラ肉が程よくブレンドされた「桃豚丼」でした。給食時には、一口ずつ丁寧に口に運ぶ子どもや、大きな口を開けて豪快に味わう子どもなどの姿が見られました。いずれの子どもたちも口をそろえて「おいしかった!」と感想を話し、町が誇る特産品である桃豚の良さを感ぜられる給食になりました。